

週間漁海況情報—第6号

平成23年2月7日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.2.7)を示した。

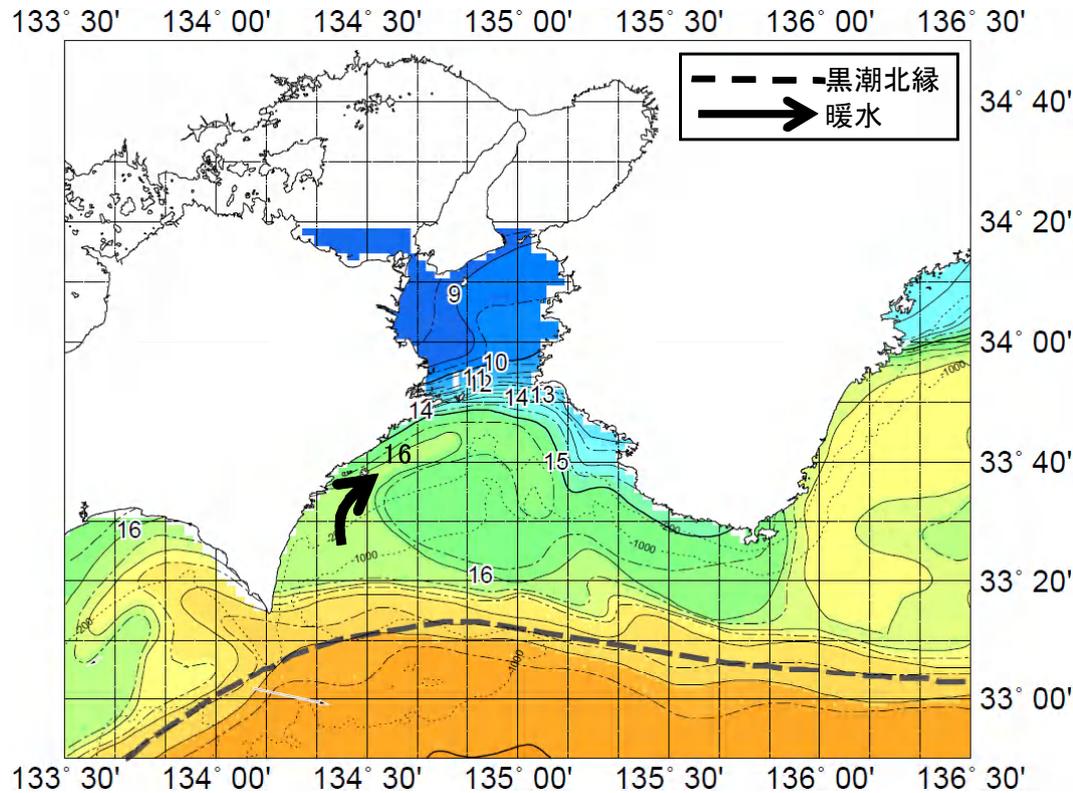
黒潮は、室戸岬で接岸、潮岬沖でやや離岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でかなり離岸、足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8℃台、紀伊水道で8～13℃台、海部沿岸で13～16℃台である。

紀伊水道外域西側では、室戸岬から徳島県海部郡に沿った緩やかな暖水流入がある。内海系水と黒潮系暖水との潮境は蒲生田岬周辺から和歌山県田辺周辺に向かってみられる。

漁業調査船「とくしま」が2月3日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は全層とも「やや低め」の7.8～8.0℃であった。



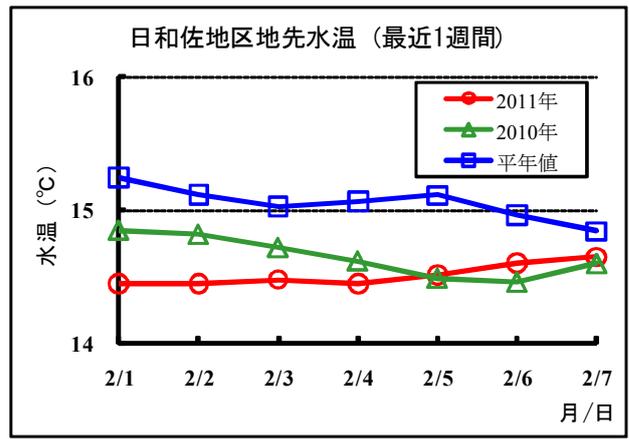
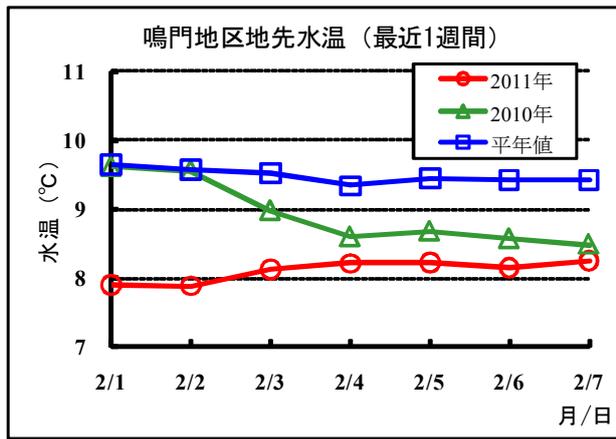
播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
2/3	今年値	8.0	7.8	7.8	7.8	32.9	32.9	33.0	33.0
	平年偏差	-1.2	-1.3	-1.3	-1.4	0.2	0.3	0.3	0.3
	前年偏差	-0.7	-0.8	-0.7	-0.7	0.0	-0.1	-0.1	-0.1

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「低め」～「やや低め」の7.9～8.3℃、日和佐地区で「やや低め」～「平年並み」の14.5～14.7℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の14.7～15.2℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 海況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にアマダイが0.4トン（1日1隻当たり8kg）、カワハギが0.4トン（同37kg）、大主体にサバフグが0.2トン（同14kg）、中主体にタチウオが0.8トン（同90kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、大・小主体にゴマサバが0.5トン（同60kg）、中主体にヒラメが0.5トン（同8kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが1.0トン（同10kg）、キビナゴが0.3トン（同12kg）、小主体にマルアジが0.2トン（同13kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にアオリイカが1.3トン（同10kg）、大主体にゴマサバが3.4トン（同60kg）、小主体にマサバが0.8トン（同16kg）、メジロが0.3トン（同29kg）、紀伊水道でサバフグが0.2トン（同15kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 01月31日～02月06日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	55	423	8	大主体
		カワハギ	10	366	37	
		サバフグ	17	232	14	大主体
		タチウオ	9	813	90	中主体
建網	海部沿岸	ゴマサバ	8	476	60	大・小主体
		ヒラメ	59	478	8	中主体
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	104	996	10	
		キビナゴ	23	269	12	
		マルアジ	18	241	13	小主体
釣り	海部沿岸	アオリイカ	135	1,341	10	大主体
		ゴマサバ	56	3,371	60	大主体
		マサバ	51	830	16	小主体
		メジロ	11	318	29	
	紀伊水道	サバフグ	15	218	15	

週間予報：黒潮は室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖で「やや離岸」であるものの接岸傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の8℃台、日和佐地先は「やや低め」～「平年並み」の14℃台で推移する見込み。